

FastGene™

QPCR Probe Mastermix w/ROX

加水分解プローブを用いたリアルタイム PCR 用マスターミックス

Cat.No.	概要	包装単位
FG-EGL010	FastGene™ QPCR Probe Mastermix w/ROX	5×1 mL (500×20 µL 反応)

【製品説明】

本製品は、加水分解プローブ検出に最適な2x濃度のリアルタイムPCR用マスターミックスです。ROXリファレンス色素による補正を必要とするあらゆるリアルタイムPCR機器に対応しています。また、Cat.No. 5876486001 EagleTaq Master Mix with ROXと同等の性能を有しています。

【マスターミックス内容】

本試薬は、Taq DNAポリメラーゼ、dNTP (dUTPを含む)、ROXリファレンス色素、専用バッファーを含む、2x濃度のマスターミックス試薬です。

プローブ、プライマー、テンプレート以外の必要な試薬が含まれています。

【保存方法】

未開封のキットは-15から-25℃で保存してください。

開封後は+2から+8℃で3ヶ月間安定です。

【PCR反応溶液セットアップ】

コンポーネント	容量	最終濃度
FastGene™ QPCR PM w/ROX (2x)	10 µL	1×
加水分解プローブ	適量	100 ~ 200 nM
Forwardプライマー*	適量	200 ~ 1000 nM
Reverseプライマー*	適量	200 ~ 1000 nM
H ₂ O	適量	
テンプレート (DNAやcDNA)**	適量	gDNA: 10 pg-500 ng cDNA: 10 pg-100 ng
合計	20 µL	

* プライマーやテンプレートの希釈は、PCRグレードのH₂OまたはTris-HClバッファ(5-10mM, pH 7.5-8.0)を使用してください(TEバッファを用いると溶液中のMg²⁺濃度が変化してしまいますので避けてください)。

** cDNAは反応液量の10%を超えて持ち込むと、PCR反応を阻害することがあります。まずは、10倍、100倍などの段階希釈したもので阻害がかわらないか確認することをおすすめします(阻害がある場合は、増幅シグナルが等間隔で得られません)。

【PCR反応プロトコール】

現在ご利用のリアルタイムPCRの反応プロトコールでほとんどの場合は問題なくご利用いただけます。ご参考のため、典型的なリアルタイムPCRの反応プロトコールを一例として以下に示します。

Step	UNG*	Activation	PCR		
	Hold	Hold	Cycles (40 Cycles)		
			ステップ1	ステップ2	ステップ3
時間	2 min	10 min	15 sec	1 min	1 sec
温度	50℃	95℃	95℃	60℃	72℃

* UNG添加によるキャリアオーバーコンタミネーション防止の場合のみ必要です(UNGご利用の場合には別途LightCycler® Uracil-DNA Glycosylase (03539806001)をお求めください)。

【オーダー情報】

製品名	包装単位	製品番号
LightCycler® Uracil-DNA Glycosylase	100 U	03539806001



日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル18階

https://n-genetics.com ☎ info@genetics-n.co.jp ☎ 03 (3813) 0961 ☎ 03 (3813) 0962